

住居貸し渋り 解決を目指す

所沢の桑の実会

高齢者らへの住宅貸し渋り問題を解決しようと桑の実会（所沢市東狭山ヶ丘、浜野賢一理事長）が開設した多機能地域共生施設「ルークスクエア」に8月、2回に分けて厚生労働省と県の職員約20人が視察に訪れた。



視察で説明を受ける厚生労働省と県の職員―所沢市東狭山ヶ丘にあるルークスクエア（桑の実会提供）

今回の視察は、国の単身高齢者を始めとした住宅確保用配慮者への支援検討の一環。7月に行われた同施設の竣工式に厚労省の高齢者居住福祉専門官や専門家が参加し、支援の先進的な取り組みとして視察が決定した。

「ルークスクエア」は、生活困窮者の入居を拒まないセーフティネット住宅として建築。入居後は、子育てや介護、学習などの生活支援をはじめ、就業や新たな居住獲得など自立に向けた支援も行う。また、地域交流スペースも確保しており、地域住民との相互交流、支援も提供する。

（宮本未優）

2023年9月21日付

埼玉新聞